

国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

【実践者】

授業者氏名	杉山 英雄	学校名	愛知県立豊橋商業高等学校
教科（科目）・領域	商業科「グローバル経済」	対象学年（人数）	2年6組（39名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2023年 11月 ～ 12月（6時間）		

【実施概要】

1. 単元名（活動名）グローバル化が進展する社会						
2. 実践する教科・領域：商業		3. 学習領域				
グローバル経済（教科）			1	2	3	4
		A多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
		Bグローバル社会	相互依存	情報化		
		C地球的課題	人権	環境	平和	開発
		D未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加	
4. 単元の目標（評価規準を意識して設定）：						
<ul style="list-style-type: none"> 世界の国々がSDGsの達成へと向かうために、「貿易」を通じて何ができるか、SDGsの目標から考えることができる。 自由な取引（貿易）の重要性を理解するとともに、国際貢献、支援のあり方について考えることができる。 						
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	「GDP」、「インフレーション」、「関税」など経済の基本・重要な内容を理解し、「貿易」の代表的な理論等についても様々な視点から考えることができる。				
	②思考力、判断力、表現力等	「貿易」の重要性と国際秩序について、「WTO」をはじめとする国際機関が果たす役割、さらに自由に貿易ができる世界を築くために、「二国間協定」や「地域経済統合」がなぜ必要なのか、それぞれの国の視点で考えることができる。				
	③学びに向かう力	日本にとって「地域経済統合」を推進する意義や、貿易協定が進展することにより、日本の経済的な変化について考え、様々な国について理解を深める。特に「開発途上国」への支援のあり方について考えることができる。				
6. 単元設定の理由・単元の意義 （児童／生徒観、教材観、指導観）	<p>【単元設定の理由あるいは単元の意義】</p> <p>グローバル化の動きが加速する中で、企業だけでなく個人もどのような行動を取るのか、生徒自ら考えることができるようにする。</p> <p>日本が戦後、驚異的な経済成長を遂げることができたのは、世界の国々との様々な「財」について、国際的な取引（貿易）が可能であったからである。しかし、過去に、戦争といった大惨事が引き起こされた要因の一つに、「経済のブロック化」や「関税戦争」といった世界諸国の経済的な対立があった。この反省にたち、「自由な取引（貿易）」の重要性について考えることをねらいとして、本単元を設定する。</p> <p>【児童／生徒観】</p> <p>生徒は入学時よりタブレット端末を使用し、一見すると情報を上手に扱い、コミュニケーション能力も向上しているように見えるがそうではない。「課題研究（探求学習）」など</p>					

<p>専門高校ならではの特色ある学びに取り組む中で、新たな視点で「人」とのかかわり方についても考えることができるようになることを期待したい。</p> <p>今回、商業科目の一つである「グローバル経済」の授業を進める中で、多くの生徒が SDGs の目標でもある「平和」、「福祉」、「教育」、「パートナーシップ」などについても意識するようになってきている。また、今まで以上に「戦争」について考えている生徒も多く、世界情勢を敏感に、不安に感じていると思える。SDGs について様々な教科で学び、さらに深く学びたいという生徒の学びの姿勢が向上していることも背景にあると考える。</p> <p>【教材観】 日本が経済活動である「貿易」をおこなうにあたって、「二国間協定」、「地域連携協定」が、お互いの国の発展につながっているか、今回は特に様々な地域連携協定を取り上げ、「グローバル化の進展」と「貿易」の重要性の理解を深める。</p> <p>【指導観】 生徒の考える世界と日本の「今」の現状について比較し、様々な課題をみつけ、解決に向けて、自らの行動につなげられるようにする。一人では解決できない困難な課題についても、仲間と協力し、SDGs の目標、実践例を確認しながら取り組めるようにする。一年次より続く、他教科との連携や外部講師も活用し取り組む。</p>			
7. 単元計画（全6時間）			
時	ねらい	学習活動	資料など
1	<ul style="list-style-type: none"> ・「グローバル化が進展する社会」とはどのようなものであるかを、「身近に感じた海外」や「データ」から「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」の移動からグローバル化を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書・資料を読む。 ・教科書を通じ、世界の「動画配信」の市場規模、契約件数の推移、コロナ禍で進んだ「テレワーク」導入の推移、世界の様々な「国境」（トルコ・シリア等）、日本人の出国数と外国人の入国数の推移等を特にコロナ禍前と比較しグループで話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ JICA 資料「プロジェクトヒストリー（漫画版）」
2	<ul style="list-style-type: none"> ・国際化の段階とグローバル化した市場」との違いを身近な「モノ」や「サービス」から各自で考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を読む。 ・音楽・動画配信アプリの視聴 ・グループ内で、各自が利用している国内外の音楽・動画配信アプリの特徴など、グローバル化した「市場」を確認し、特徴、問題点をグループで話し合い、文章にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽配信アプリ「Radio arden」 ・韓国の「学習漫画」「サバイバル」シリーズ

3	<ul style="list-style-type: none"> ・「金融のグローバル化」と「企業のグローバル化」について、今後どのように変化し、どのように進展していくのか、様々な情報、身近な出来事からを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨預金のパンフレットを参考に、各国に存在する金融市場を確認する。 ・国境の壁を越え、人や企業、金融機関などが参加し、資金調達や資金運用を頻繁に行っていることを確認する。 ・「クラウドファンディング」などの新しい金融は今後、どのようなことができるかグループで話し合う。 ・教科書の「事例」を読み、日本を代表する企業のみならず、地元企業がグローバル化する理由、その歩み、海外生産をする理由をグループで話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1ドル紙幣（現物） ・地元金融機関の発行する外貨預金、投資信託のパンフレット ・「クラウドファンディング」で実際に購入した商品を紹介する
4	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化と社会の多様性、多様性の拡大によっておこる様々な問題を理解する。 ・グローバル化と経済連携協定（EPA）の動きが密接に関係していることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を読み、教科書の重要事項を確認する。 ・ワークシートを使い、「多様性」の拡大が社会の活気を生み出していることと、その一方で、内外でおこっている問題を確認する。 ・映像資料を視聴し、「民族的」、「文化的」、「歴史的」な背景が異なる様々な人々が社会に共存するために、自分たちができることを新聞記事も参考にグループで話し合い、まとめる。 ・「移民」、「難民」、「技能実習生制度」、「多民社会」について書かれた新聞記事を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハートネットTV 特集 「外国人技能実習制度」 NHK ・新聞記事 「技能実習生 中国、ベトナムからウズベキスタンへ」「日本からドミニカへの移民」 ・JICA 横浜 「海外移住資料館」について
5 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化時代の国際社会における日本の役割やあり方について考える。 ・世界の各地域と「貿易」を進め、世界中で生まれる様々な問題について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書、JICA 資料を読む ・フィリピン基礎データや貿易統計などを読み取る ・貿易自由化を推進する協定である「EPA」と「FTA」の役割を考えるために、人の移動の拡大で増加している「外国人材・技能実習生」についても資料（新聞記事）を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・JICA 資料 「生きる力」を育む国際理解教育実践資料集 ・フィリピン基礎データ（外務省） ・貿易統計（財務省） ・食料自給率（農林水産省）

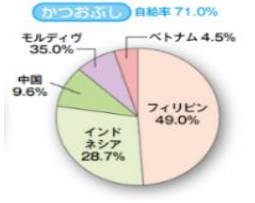
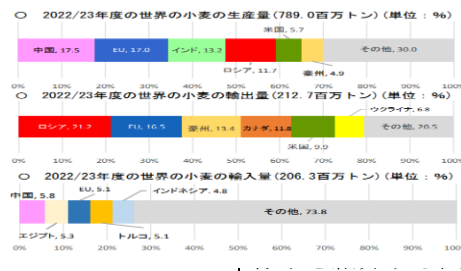
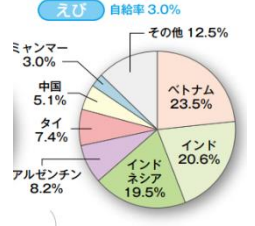
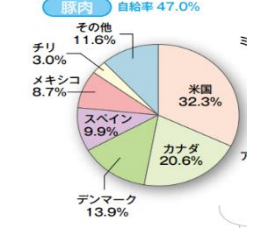
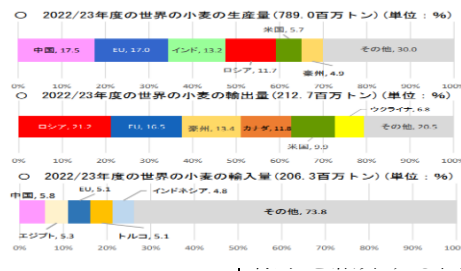


6	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化の諸問題について考える。 ・国際貢献の柱である、ODA（政府開発援助）と JICA（国際協力機構）の働きについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書、JICA 資料を読む。 ・インタビュー映像の視聴。 ・本校「課題研究（商品開発）」での取り組み事例と開発途上国支援としての、地元企業の取り組み事例、本校と地元企業の連携プラン、アイデアを確認し、グループで各自の考えを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネパールでコーヒー豆農家を支援している、地元企業のインタビュー映像 ・本校「課題研究（商品開発）」での取り組み事例。
---	---	--	--

8. 本時の展開（概略）

本時のねらい：

・私たちの身の回りの「財」や「サービス」から、「貿易」が果たす役割や、世界とのつながりを理解し、貿易の国際秩序や国際社会における日本の役割やあり方、課題解決に向けた取り組みについて考える。

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (12分)	<p>1. 私たちの「身の回りにあるもの」を画面に提示する。チョコレート（カカオ）、すし（マグロ）、うなぎ、ガソリンなど、主にアフリカとつながりがあるもの。</p> <p>T「1枚目のスライド（配布済みワークシート）にある品目は、私たち日本人になじみのあるものばかりです。輸入先の国・地域を考えてください。」</p> <p>T「中でも、チョコレート（カカオ）、電気自動車（バッテリー）、ゲーム機等の電子機器にも使われるレアメタルについては、このスライド（画像）をみて、何か気づいたことはありますか？」</p> <p>T 画像（レアメタルの採掘）の中には一面的な部分しか紹介していないものもありますが、各自が気づいたこと、問題点をグループでも共有してみよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チョコレート（カカオ）（ガーナ等アフリカ諸国）理由：社会人講師講話で講師の方から話を聞いたから。 ・気づいた点：生産・加工に多くの人手が必要。 ・ガソリン（中東諸国 ロシア）理由：ニュースでEUの国々がロシアから輸入しないと話していたから。 	<p>・事前に本時のワークシートを配布し、授業日前日までに、ワークシートの質問事項に回答させておく。</p> <p>・「国名」を答えるだけでなく、その国の特徴を様々なデータから確認しておくように指示をしておく。</p>	<p>・JICA 冊子「生きる力」を育む 国際理解教育実践資料集</p> <p>・「各国基礎データ」外務省HP等</p> <p>・「カカオについて」明治（株）資料</p> <div style="text-align: center;">  <p>ガソリン</p>  <p>チョコレート (カカオ)</p>   </div> <p>・各自が気づいた点については、全体で紹介する。</p> <p>・各国に対するやい</p> <p>・JICA 資料「どんな国」を参考</p> <p>・JICA 冊子「共につくる私たちの未来」</p>

<p>展開 (33分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 電気自動車 (バッテリー) のレアメタル (中国 アフリカ) <p>理由: レアメタルの種類はたくさんあるが、その種類の多くを中国が産出していると他の授業で学んだから。</p> <ul style="list-style-type: none"> 気づいた点: 採掘現場は、全部ではないと思うが、危険な場所にみえる。 <p>T「私たちの生活と世界のつながりをもう少し考えてみましょう」</p> <p>T「2枚目のスライドの円グラフは、お好み焼きの原材料の輸入割合を示しています。この3つのグラフからどのようなことに気づきましたか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> かつおぶし 自給率は100%近いと思ったが、フィリピンから輸入していることに驚いた。 えび 自給率が3%とここまで低いとは思っていなかった。ほとんど、アジアから輸入している。 豚肉 輸入先にアジアの国ではなく、欧米の国からなぜ輸入が多いのか気になる。 <p>T「最後に、3枚目スライドにある世界の小麦生産量、輸出量、輸入量のグラフから、日本の小麦輸入先として多い国はどこだと思いますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> アメリカ 大規模な農家が多く、大量に生産している。 ウクライナ 小麦の一大産地で今まで多くの国に輸出していることをニュースで知ったから。 正解 アメリカ、カナダ、オーストラリア <p>T「ここで取り上げた輸入される品目だけではなく、様々な「モノ」や「サービス」において、日本の技術が生かされています。「コーヒー豆」、「カカオ豆」をみても、日本の「技術」を現地で指導する人がいます。ではなぜ、現地で「技術」を指導する必要があるのでしょうか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> 良いものをつくれれば、高く売れ、現地の暮らしもよくなるのではないか。 安心、安全なものが輸入できれば、私たちの暮らしもよくなるのではないか。 世界共通の目標 SDGs を達成するために、日本 	<p>メーじや、輸入されているものの特徴をグループで共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「レアメタル」については事前の授業の中で説明しておく。  <p>・日本と世界の「食料自給率」の現状については事前の授業の中でも触れておく。</p>  <ul style="list-style-type: none"> 私たちの「身の回り」にあるもの」を考えることで、私たちの生活が世界の国々や地域、開発途上国にも依存していることを気づかせる。 世界の多くの国で日本の技術協力や支援がおこなわれていることを説明する。 技術指導を行うことで、私たちだけでなく、現地の農家が希望を見出し、その国の発展にもつながること 	  <ul style="list-style-type: none"> 農林水産省 (品目別自給率)の現状について   <p>フジミンを使った排水の浄化実験</p> <ul style="list-style-type: none"> コーヒー農園のある村 (ネパール)  <p>SHANTI SHANTI COFFEE FARM(株)提供</p>
-----------------	---	--	---

が協力をしていると思う。

T「次に、「フィリピン基礎データ」と、スライドの画像を見てください。この画像は今年、フィリピンの貧困地区で子どもたちを支援する団体の方が、現地の様子を写したものです。子どもがお土産を売っている画像もあります。」

T「フィリピンでも、外国人観光客に人気のあるお土産はたくさんあり、価格も様々です。ただ、この地区の子どもが売っているものは、安価な雑貨が多いです。」

T「この地区を訪れる外国人観光客はあまり買ってくれないそうです。このマグネットはひとつ20ペソ。5つ買うと1つおまけをしてもらえます。20ペソは今のレートだと55円くらいです。フィリピン基礎データとこの画像をみて、みなさんの感想を教えてください。」

- ・子供たちは学校に行っているのですか？
- ・一日の売り上げはどのくらいですか？
- ・なぜ、子どもがお土産をうっているのですか？
- ・一人あたりのGDPを日本や世界平均の金額と比べてもフィリピンの金額はとても低い。

T「子どもの母親が写っている写真もあります。この母親も、子どもの頃、同じようにお土産を売っていました。ここでの暮らしは決して楽ではありません。」

T「ただ、フィリピンの母親がすべて同じ状況にあるわけではありません。しかし、この地区の失業率は、フィリピン政府が出しているデータよりも高いと思われます。」

T「ここで紹介した、貧困地区で子どもたちを支援する団体の方は、子どもたちが学校にいけるように、様々な支援をしています。長年の支援の結果、大学を卒業する子どもも出ました。支援している方は「まだまだこれからといったところ」だと話しています。

T「負の連鎖の状況からどういう取り組みをするのがこの連鎖を断ち切るのに効果的かここで紹介

に気づく。

- ・外国にルーツを持つ生徒もいるので、誤解のないように、画像については、丁寧に説明をする。



- ・フィリピンの生活の様子を写した画像



- ・外務省「フィリピン基礎データ」

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
GDP (億米ドル)	2,619	2,839	2,975	3,064	3,186	3,285	3,468	3,768	3,615	3,936

(出典：IMF)

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
一人当たりGDP (米ドル)	2,721	2,903	2,966	3,039	3,108	3,153	3,280	3,512	3,323	3,572

ル) (出典：IMF)

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
失業率 (%)	7.0	7.1	6.6	6.3	5.5	5.7	5.3	5.1	10.3	7.8


ピン国家統計局)



- ・画像に出てくる支援団体の活動内容について紹介する。

- ・JICA「負の連鎖」カードを使い、どういう取り組みをするのが連鎖を断ち切るのに

- ・バンサロモ自治政府能力向上プロジェクト
- ・「負の連鎖カード」
- JICA 冊子「生きる力」を育む 国際理解教育実践資料集

<p>した事例を参考に考えましょう。」</p> <p>T「この地区の人たちに必要な支援や援助には、「自立」という視点と「ビジネス」の視点も必要だと思います。どのようなものが考えられますか？データで用意した、「負の連鎖」カードを最初につなげてから、この連鎖を断ち切ることを考えながらすすめましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金を寄付するだけではだめだと思うけど、やはりお金は必要ではないか。 ・学校をつくる ・あたらしい特産品（おみやげ）を開発する ・働く場所を提供する ・日本に留学や働きに来て技術を学び、お金を稼ぎ、母国に戻り起業する。 <p>T「グローバル化は、流通や情報といった「モノ」「サービス」だけではなく、「ヒト」の移動・交流も大きく関わっています。」</p> <p>2. 日本の産業を支える外国人労働者</p> <p>NHKドキュメンタリー映像「街角イヤホン」を視聴する。</p> <p>T「この映像の中でインドネシアから技能実習生としてきた若者が登場しました。今では多くの外国人を色々な場所で見ます。ここで JICA が推計したデータ（新聞記事「増える外国人材、どこから？」）や用意したグラフを見てください。</p> <p>T「なぜ外国人材がふえているのでしょうか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の企業が人材不足だから。 ・日本で技術を学びたいから。 <p>T「みなさんはどこで、どのような場面で外国人材の方をみましたか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝早く、バスに乗ってどこかへ行くのをみた。 ・コンビニやファミレスなどの飲食店で働いているのをみかけた。 ・病院などの医療機関や介護施設で見かけた。 <p>T「なぜ、この映像に出てきた若者は日本で働くことを選んだのでしょうか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本で働く方が、お金を稼げる。 <p>T「みなさんは高校卒業後、見知らぬ外国で働くことを想像できますか？」</p>	<p>最も効果的か考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JICA の取り組み、目的についても紹介する。 ・ 負の連鎖は発展途上国だけの問題ではなく、身近なこととして、日本の社会でも存在していることに気付かせる。 ・ 人の移動には、個人の移動、企業活動にもなう移動だけでなく、様々な機関も関わっていることに触れる。 ・ 映像の一部を視聴し、様々な問題に気付かせる。 ・ 外国人材の方の視点でも考える。なぜ母国でなく、日本で働かなければならないのか考える。 ・ 日本国内にいる外国人労働者のうち、工場などの作業員が 56.5% と最も多数を占めるため、実際に見かける場面は少ないことに気づかせる。 ・ 最近では、販売・調理などのサービス業や、専門・技術・管理職に携わるなど、外国人労働者の働く業態、国籍は多様化しているこ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞記事「増える外国人材、どこから？」（日本経済新聞 JICA データ提供） ・ NHKドキュメンタリー 映像「街角イヤホン」  <ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞記事「技能実習生」（中国・ベトナムから→カザフスタンへ）。 ・ 新聞記事「外国人材の日本語教育」他
--	--	---

・卒業後は、地元で働くことを考えていたので、外国で働くことは想像できない。

T「データから、今後来日する労働者が増えると思いますか？」

・データから東南アジア以外の国、中央アジアなどのからも増えると思う。

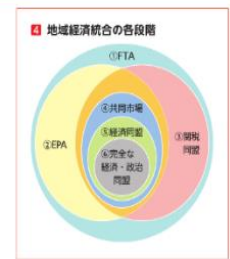
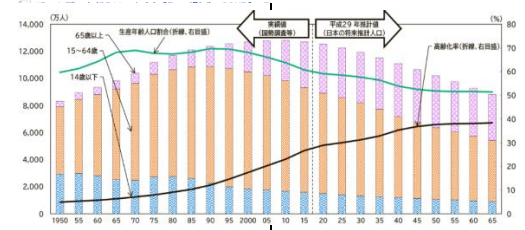
T「私の家の隣に、外国の方が今年引っ越してきました。その方とも話をしましたが、日本に来たのは20年前だそうです。最近になって、急に外国人材の方が増えた訳ではありません。そして、私たちと同じように様々な悩みを持っていることも知りました。」

T「今後も、日本は外国人材の方に「選ばれる国」でいられると思いますか、また、なぜそう思いますか？」

- ・選ばれないと思う
- ・以前より円安で、他の国より稼ぐことが難しいから。
- ・選ばれると思う
- ・他の国より安全で、暮らしやすいと思うから。
- ・アニメなど、日本の文化についても興味があると思うから。

とに触れる。

- ・「技能実習」の新制度についても触れる。
- ・インドネシアやフィリピンの看護師などが、現場で研修を受けながら、日本の看護師や介護福祉士の資格を受検し、資格を取得していることにも触れる。



まとめ (5分)

T「日本は貿易などを活発化させ、モノ・ヒト・サービスなどを促進させるために、政府は多くの地域と経済連携協定 (EPA) を結び、その話し合いを進めています。そして、日本は今までに 50 か国との間で「経済連携協定」を締結してきました。この EPA に基づいて、看護師や介護福祉士など多くの外国人材を受け入れる取り組みが推進されています。」

T「今後、私たちが、世界の国々と良好な関係を築くためにはどのようにすればいいのか。また、各自がどのような行動ができるのか。次回までに各自で考えをまとめておいてください。」

- ・教科書のデータから、外国人材が、今後も人材不足の日本の産業を、支える労働力になるのか考える。
- ・「SDGs」の視点もふまえて考えることを伝える。
- ・相手の国のことを知ることも大切であることを伝える。

- ・教科書「グローバル経済」「外国人材増加の推移」「地域経済統合の各段階」

9. 評価規準に基づく本時の評価 (評価方法)

・身近な「財」や「サービス」、「ヒト」の移動から、「貿易」が果たす役割、日本と世界との関わりについて、様々な資料やデータを活用し、理解することができたか。

<p>10. 学習方法および外部との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コミュニケーション英語」の授業でALT（アメリカ人）について、母国の生活の様子を伺う。 ・外部講師（明治）による、「フェアトレード」の必要性。チョコレートの原料になるカカオの生産者について話を伺う。 ・コーヒー農園、コーヒーショップ経営 SHANTI SHANTI COFFEE FARM(株) 広報の方から現地での活動について話を伺う。 ・地域の外国人向けスーパー（ブラジル人）、各国料理店経営者（インド・ネパール）からの各国の文化と日本での生活、諸問題についての話を伺う。（家庭科・社会科との連携）
<p>11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「課題研究」地域貢献授業。小学校への「出前授業」内での金融教育（簿記）の実践。「お金の大切さ」。 ・「課題研究」地域貢献活動。外国籍児童・保護者対象のパソコン教室の実施。 ・「金融経済教育研究会」での授業実践報告。

【自己評価】

12. 苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の高校生のほとんどが、いつでも容易に情報を入手できる環境にある中、国際社会で起こっている問題もネット・テレビ等を通じ知っていると思っていたが、自分に興味のない出来事には全く触れていない生徒も数多くいた。今回の授業でも導入から、興味関心を引くためにはどのようにすればよいか苦慮した。 ・すべての单元において、様々な映像・画像を導入に使用し、指導してきたが、生徒にはなかなか、身近なこととして、考えることに時間がかかったようである。 ・国際情勢のみならず、コロナ後の日本国内の経済状況も日々変化し、日本からの視点だけではなく、諸外国は同じ事象をどのようにみているのか、一面的な視点ではなく、様々な視点で物事をみることができるよう、資料を提示することには細心の注意を払った。
13. 改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のようなグループワークでの意見交換を今まで以上に活発に行い、生徒たちから浮かんだアイデアを生徒同士が共有するためには、もっと生徒1人1人が自分の意見をまとめ、自分のアイデアを他生徒に伝えるための準備をする時間が必要であると感じた。商業科目だけでなく、普通科目の授業においても共通する分野や内容がある。他教科・科目とも連携し、共通する分野や内容について情報交換をし、教科をまたいで生徒1人1人が興味を持った分野の調査・研究を深めることができるように働きかけることが重要ではないか。指導する側の工夫や連携が大切である。1つのことを深く学ぶことで得た知識は今後役立つのではないかと考える。 ・JICAが作成した「負の連鎖」カードなどの効果的に活用できる資料を、データ化し、生徒タブレット上でも使用できるようにしたが、使い勝手は今一つで、さらに改善の必要性を感じた。

14. 成果が出た点	<p>・マクロ的視点（国や JICA 等）だけではなく、ミクロ的視点を持つことができるようになってきたのではないかと思う。生徒たちの身近な、「モノ、コト・人」が世界につながっているのを実感した。授業後に実施した社会人講話から、地域の中で共に暮らす外国人の方、特に外国籍児童生徒の困りごとを知ろうとする姿勢がみられた。支援については「今の自分の立場でできること」という考える視点でアイデアを出し、行動してみたいという動きにつながった。</p>
15. 学びの軌跡 （児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど）	<p>本單元では様々な問を設定し、下記の二つについては、授業終了後に課題として、各自の考えをまとめさせ、提出させた。</p> <p>問「今回の授業で取り上げた画像にある地区に必要な支援や援助にはどのようなものがあると思うか自分の考えを述べなさい。」（フィリピンでの支援の様子）</p> <p>以下は生徒の記述の一部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ODA による無償資金協力やインフラの整備、雇用機会の提供といった支援も必要だが、支援されたモノやサービスを生かせる人材の育成も必要だと思った。」 ・「将来の国を支える子どもたちのために、教育の環境を整備、人への投資をすることが大切だと思った。」 ・「生活に必要なものを送ることも必要だが、服であれば、服の作り方を教えるなど、特に失業率の高い地域には、大人に仕事を提供することも必要だと思った。」 ・「私の近くに、豊橋の名産の「ちくわ」作っている老舗があるが、後継者もいなく、いずれ廃業するようである。この技術、機械をフィリピンへ持っていき、新たな仕事を作ることはできないか考えた。」 <p>問「今後、私たちが、世界の国々と良好な関係を築くためにはどのようにすればよいのか、また、各自がどのような行動ができるのか自分の考えを述べなさい。」</p> <p>以下は生徒の記述の一部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まずは、世界の国々に興味を持つことが大事。自国の文化だけでなく、他国の文化を知り、相手を尊重する気持ちや、必要な時にお互いに寄り添える関係が必要。」 ・「高校生の視点で日本の魅力（文化）を積極的に発信する。私は弓道部に所属し、アニメも大好きなので、機会を見つけ、情報を発信していきたい。」 ・「日本は生活に必要なものの多くを外国から輸入という形で依存している。私たちも、海外の方に喜ばれるもの、特に防災の技術を応用したものなど、日本しか作れない、自分たちが誇れるものを作り、輸出することが必要だと思った。」 ・「世界の国々と良好な関係を築くためには、友達との交流を深めるのと似て、まず相手のこと、世界のこと、現状を知ることが大事だと思う。自分は大学への進学を考えているので、今後、ボランティア、留学などの機会を作り、世界の様々な国へ行き、たくさんの人々に会うことが大切。」 ・「良好な関係は、人々の思いやりの上に成り立つものだから、困っている人がいれば、たとえ道に迷っているなど、小さなことと思えることでも、国籍を問わず手を差し伸べたい。」

16. 授業者による自由記述	<p>外国にルーツを持つ生徒もあり、授業後に行ったアンケートからも今回取り上げた国々には、興味を示した生徒が多いと感じた。授業が始まった当初に比べ、ニュースにも関心をもち、新聞を読む生徒も増えたように感じる。日々目まぐるしく変化する国際経済、国際情勢に興味関心を持つ生徒も増えた。図書室を利用する生徒も増えた。</p> <p>今後も、毎回の授業で、単元の内容にとらわれず、世の中で行われている活動を紹介していきたい。国際情勢だけではなく、特に地域の新聞からも情報を提供し、生徒たちの興味関心を引き出していきたい。卒業後の進路にもつながるような機会（授業）を提供していきたい。</p> <p>昨年度は違う科目の中で、週に一度、課題として、新聞より各自が興味を持ったニュースについての報告をさせていたが、本年度は、新聞を購読していない家庭も多くなるなど、生徒の家庭の事情も考慮し、課題の提出をやめていた。しかし、生徒の「考える力」を向上させる意味でも、新聞だけでなく、様々なメディアから情報を得ることで、各自が興味を持ったニュースをまとめさせ、提出させることとした。</p> <p>この授業だけではなく、学んだことを実践に活かせる場が数多くあることに気付いた。また、地域では、高校生など若い力に期待することも多く、大学とも連携し、様々な課題解決に若者の視点を取り入れ、地域に貢献していきたい。</p> <p>今回のみならず、様々な人の話を聞く機会は非常に重要と考える。生徒は自分の知らない世界を知ること非常に興味関心を示していた。その結果、生徒が自分の持っていた先入観に気が付く場面が多くみられた。</p> <p>「今の自分の立場でできること」を考えるグループワークなどの場を提供することで「いずれはもっとやりたい！」とチャレンジする意欲を見せる生徒が目立った。</p> <p>この授業のあと、廃棄予定のミカンを実際に使い、商品開発を試みた。「付加価値」の高い商品を考えようと、生徒同士で協力する姿勢がみられた。</p> <p>四月当初に実施したアンケートでは、世の中で起こっていることは他人事で、自分の行動だけでは、何も変わらないと考える生徒が多かった。その状況を少しでも変えたいとの思いが先行しすぎ、一方的な指導になっていたのではないかと反省しているが、自分自身で考え、積極的に行動しようとする生徒が増えたと感じることもあり、今後も日々、授業改善に取り組んでいきたい。</p> <p>当初、商業科目では、この研修を進めるのは難しいと思っていたが、むしろ簿記をはじめとした、商業科目を学習した生徒こそが、世界で活躍できる人材になる可能性をみつけることができた。指導の中で、少し国際理解教育について触れるだけで、生徒は自分で世界とのつながりをしっかりみつけられていると実感した。</p> <p>今回、自分の年齢で、この研修を受けさせていただき、本当に刺激を受けました。一つの授業に今までにないほど真剣に向き合うことができ、大変ではありましたが、充実した時間を過ごすことができました。何歳になっても、「能力は伸びる」と話していた、先輩教員の言葉を思い出しました。</p>
----------------	--

参考資料：

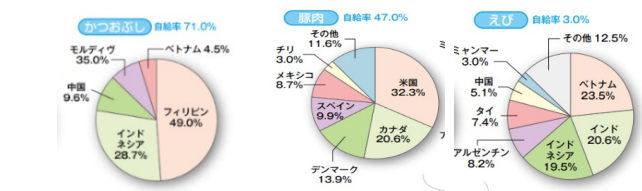
- ・「生きる力」を育む 国際理解教育 実践資料集 独立行政法人 国際協力機構 JICA
- ・学校に行きたい！ 国際協力と私たち 独立行政法人 国際協力機構 JICA
- ・新・貿易ゲーム 開発教育協会
- ・世界がもし100人の村だったら【第6版】 開発教育協会
- ・フィリピンパブ嬢の経済学 中島弘象 新潮新書
- ・ハートネットTV 特集 「外国人技能実習制度」 NHK
- ・Asia Insight 「出稼ぎ大国 ネパールの現実」 NHK
- ・NHK スペシャル「夢見た国で～技能実習生が見たニッポン～」 NHK
- ・SHANTI SHANTI COFFEE FARM <http://farmers-passion.com/what.php>
- ・小学校ガイドブック（ポルトガル語・スペイン語・タガログ語・英語）
- ・中学校ガイドブック（ポルトガル語・スペイン語・タガログ語・英語）
愛知教育大学 外国人児童生徒支援 リソースルーム
- ・NHKドキュメンタリー 映像「街角イヤホン」

チョコレート (カカオ)

カカオ豆の収穫、加工、そしてチョコレートへの転換。また、カカオ豆を販売するトラックと、それを扱う人々の様子も写っています。

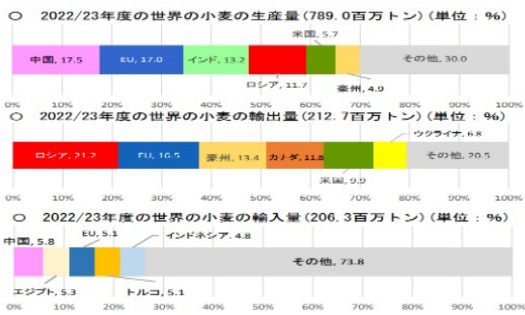
カコン

私たちが日本人になじみのあるもの



お好み焼きの原材料

JICA資料より



ジミンを使った排水の浄化実験

日本の技術を現地で指導



フィリピンの生活の様子 (一部)



貧困とは

「1日1.9ドル未満で暮らす人」「教育、仕事、食料、保健医療、飲料水、住居、エネルギーなど最も基本的な物・サービスを手に入れられない状態」

絶対的貧困

•最低必要条件の基準が満たされていない状態、すなわち、最低限必要な食料と、最低限の**日食料支出**が購入できる所得または支出水準に達していない状態をいう。

☆**相対的貧困**

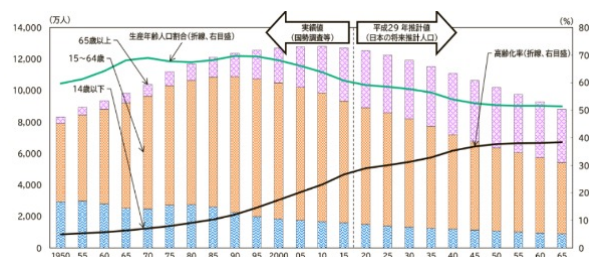
•ある国や地域の**大多数よりも貧しい状態**をいう。日本における相対的貧困率は1985年は12.0%、2015年は15.7%と上昇している。

フィリピン基礎データ (外務省)

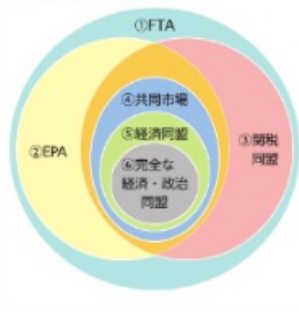
	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
失業率 (%)	7.0	7.1	6.6	6.3	5.5	5.7	5.3	5.1	10.3	7.8

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
一人当たりGDP (米ドル)	2,721	2,903	2,996	3,039	3,108	3,153	3,280	3,512	3,323	3,572

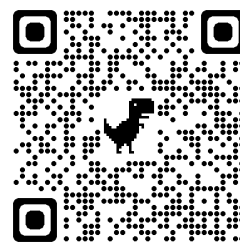
	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
GDP (米ドル)	2,619	2,839	2,975	3,064	3,186	3,285	3,468	3,768	3,615	3,936



4 地域経済統合の各段階



街角イヤホン (NHK)



身の回りの「財」、「サービス」輸入先の国・地域

(1) 品目 (レアメタル)

※11月17日(木)までに記入すること

輸入先の国・地域	特徴・問題点

国名 () 基礎データ

()	()	()

(2) 品目 ()

輸入先の国・地域	特徴・問題点

国名 () 基礎データ

()	()	()

(2) 品目 ()

輸入先の国・地域	特徴・問題点

国名 () 基礎データ

()	()	()

2年 組 番 氏名